

**平成30（2018）年度
研究、教育、社会・学会活動報告書**

1. 研 究（本年度のみ）

| | | | | | |
|-------------|-------------------|---|----|-----|----|
| 教員氏名 | 佐藤健司 | 職 位 | 教授 | 学 位 | 修士 |
| 専門分野 | 経営学、経営管理論、人的資源管理論 | | | | |
| 研究課題 | テーマ | ①人的資源管理と人間関係 ②人的資源管理と働きがい | | | |
| | 概要 | ①人的資源管理において職場の人間関係の果たす役割は大きい。しかし、とりわけ日本企業においては、それが職場の生産性を低下させている要因にもなっている側面がある。そこで、人間関係の本質的な側面を分析した上で、これからの人間関係のありようについて考察する。 ②わが国における「働き方改革」や内外にみられる働きがいとの関連で、今後の人的資源管理のありようについて分析する。 | | | |
| 本年度 研究業績 | 研究費 | 総額： 200,000 円 内 訳： 個人研究費 200,000 円 / 科学研究費 円 そ の 他 円 | | | |
| | 研究テーマ | 「モチベーション理論に基づく人的資源管理」 | | | |
| | 経過と到達点 | モチベーション理論についての具体的な整理を行った上で、その二面性についての分析を行った。なお、この内容の一部は、労務理論学会第28回全国大会の統一論題（「働き方改革と『働きがい』のある職場」）で報告された。また、モチベーションに関連する論文としては、本学の紀要で、「内発的動機づけと外発的動機づけの関係性について」というタイトルで発表する予定である。 | | | |

(1) 学術論文

| | 論文等の名称 | 発行年月 (西暦) | 単・共著 の別 | 発表雑誌等 | 概要 |
|---------|--------|--------------|------------|-------|----|
| ①英文査読論文 | | | | | |
| ②和文査読論文 | | | | | |
| ③英文論文 | | | | | |

| | | | | | |
|-------------------------|---------------------------|--------------------------|----------|-----------------------|---|
| ④和文論文 | | | | | |
| ⑤紀要論文 | 「内発的動機づけと外発的動機づけの関係性について」 | 2019年3月(予定) | 単著 | 『京都経済短期大学論集』第26巻3号。 | 本稿では、モチベーション理論の一部を構成している内発的動機づけおよび外発的動機づけの影響は、人々が置かれている状況によって異なる、という視点から分析し、それらの新たな理解の方法について提示する。 |
| ⑥紀要研究ノート等 | | | | | |
| ⑦学会での口頭発表、討論者(ディスカッサント) | 「モチベーション理論に基づく人的資源管理」 | 2018年6月10日 | 単独(統一論題) | 労務理論学会第28回全国大会(同志社大学) | 本報告では、わが国における働き方改革の議論にともなって注目されている動機づけ理論の分析とその二面性について整理した。 |
| | (仮題)「モチベーション理論について」 | 2019年3月19日(火)～20日(水)(予定) | 単独 | 京都経済短期大学経営・情報学会 | 本報告は、モチベーション理論の具体的な整理を行った上で、今後の方向性についての整理を行う。 |

(2) 著書

| | 著書名 | 発行年月(西暦) | 発行所等の名称 | 概要 |
|----------|---------------------|-------------|---------|--|
| ⑧共著書・共訳書 | 『働き方改革と「働きがい」のある職場』 | 2019年3月(予定) | 晃洋書房 | 本稿では、人的資源管理と高業績との媒介過程として考えられるモチベーション理論について取り上げる。近年、人的資源管理と企業業績との関係が実証されるにつれ、人的資源管理と企業業績間の「媒介過程」、すなわち、モチベーション理論に注目が集まっている。そこで、ここでは、代表的なモチベーション理論の内容を取り上げたうえで、モチベーション理論の二面性に注目したい。 |
| ⑨単著書・単訳書 | | | | |

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

| | 研究テーマ (代表研究者名) | 期間年月 (西暦) | 研究項目の名称 (文科省科研費等) | 概要 |
|-----------------|-------------------|--------------|----------------------|----|
| ⑩共同研究 (研究代表) | | | | |
| ⑪単独研究 | | | | |
| ⑫共同研究 (分担研究) | | | | |

2. 教 育 (本年度のみ)

| 担当科目 | | 前 期 | 後 期 |
|----------------|---|--------------------------|---------------|
| | | 科目名 | 科目名 |
| | 講義 | 経営学総論・人的資源管理論・経営英書 講読 | 経営管理論・マネジメント史 |
| | 演習 | 基礎ゼミ・ゼミⅡ | ゼミⅠ・ゼミⅢ |
| | 実習 | | |
| 教育内容・方法 の工夫 | ◆ 講義科目 科目共通で心掛けていることは、学生が、それぞれの科目分野で主眼を置かれている内容について、正確に理解をしながら、それぞれの分野で課題になっていることについて考え、それらの問題を解決していく能力を養う。 | | |
| | ◆ 演習科目 基礎ゼミでは、大学の学習にとって、必要不可欠な項目を網羅している。ゼミは、経営学の基本的な知識を身につけることと、実践学習(1回生:アクティブラーニング、2回生:卒論)の2本柱で構成されている。 | | |
| | 実習科目 | | |
| | ◆ その他(教科書・教材等の作成を含む。) | | |

(1) 課外活動

| | |
|----------|--|
| ①研修旅行 国内 | コカ・コーラへの企業訪問を通じて、企業経営の実態を学ぶ(2019年2月17日~18日)(予定)。 |
| ②研修旅行 国外 | |

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

（1）公的委員会

| 分 類 | 活動・講演の概要 |
|------------|----------|
| ①委員長・座長 | |
| ②委員・アドバイザー | |

（2）講演会

| 分 類 | 活動・講演の概要 |
|----------|----------|
| ③講演者・登壇者 | |

4. 特記事項（本年度のみ）

| |
|--|
| |
|--|